

子ども理解について

- 自立活動において、実態把握「子どもを理解する」ことは、とても重要です。自立活動は、子ども一人一人の実態に応じた指導であるため、「一に実態把握、二に実態把握...」と、まずは実態把握がスタートになります。では、その実態把握、どのように行っていくのか...についての名言？集です。
- また、教師が見る子どもの姿...先生方一人一人の見方、捉え方によって変わってくることも...。自立活動、普段の指導においても、担任一人では捉えられない姿について語り合いながら、連携しながら指導に当たっていくことが大切です。併せて、おまけとして付けました。

「子どもの世界をどうみるか」

「私は、子どもの世界はどのようにして理解されるのか、また、子どもの世界はどのようにして育つのかを課題とする。

日々の生活の中で、子どもは表現し、私は理解する。そして、その理解に従って私は行為する。しかし、完全に理解してから生活をはじめめるのではない。私共は子どもとの生活の中に投げこまれている。そこでは、私に理解できないことを、理解できないゆえに否定するのではなく、むしろ理解できないことの中に隠された意味があることを知って、肯定的に受けとめて交わりを継続する。…子どもとともに生きる生活の中で、子どもの世界は発見される。」

津守真「子どもの世界をどうみるか-行為とその意味」日本放送出版協会，1987年第1刷

子どもに学んで語り合おう

「子どもを分かるための直観力と想像力」

私たちが子どもについて知っていくには、子どもの目の動きや表情や言葉や行動など、外から把握できるものにまずは着目しなければならない。そういうサインと言っているものに気付くのは教育的直観力による。しかし、そこにとどまらず、そのような表現の奥にあるものを把握しなければならない。…直観力にせよイマジネーションにせよ、それがいかに鋭く豊かなものであっても、一人の教師のものは、複数の教師のものにはかなわないというのが普通である。…感じたこと、知ったこと、分かったという体験について、教師は折りにふれ語り合うことが大事でしょう。子どもに学んで語り合うのです。

子どもから学べよ

- 倉橋惣三（くらはしそうぞう）の幼児教育論（保育論）

「倉橋は幼児教育には多くの基礎知識を必要とするだけでなく、子どもの心性を知り、子どもにどのように関わるかという方法を本や講義で得るだけでなく、むしろ『子どもから学ぶ』べきことを説いている。」

乙訓稔「倉橋想像の幼稚園教育の理念」実践女子大学 生活科学部紀要第 49号, 2012

「倉橋惣三の保育論は、生きた子どもの事実から出発します。...生きた子どもの事実を、大人である保育者はいかにして知ることができるのか...」

津守真「子ども学のはじまり」フレーベル館, 1979

実践と省察を繰り返しながら、 子どもを理解する

- 「省察」による日々の実践の振り返りを

保育者は、保育実践に先立ち、子どもの遊びの様子や心身の状態から子どもを理解する一方、保育実践の過程での子どもの姿から新たな気づきを得ることもある。実践を行いながら自分の実践を振り返る力は「省察」と呼ばれ、保育者の専門性の一つとされている。…（略）…自分自身の保育を振り返りながら、さまざまな見方に気付いたり、子どもの行動の意図や、その活動が幼児にとってどのような意味があったのかを考えたりすることである。

清水益治・森俊之「子どもの理解と援助」中央法規出版，2019

子どもに学んで，語り合う

- 複数の目を重ね合わせて

担任間で，子どもたちにかかわる職員で，全職員で。一緒に実践を行っていく中で“どうしたらいいかなあ” “どうしようかなあ”をことばにして，語り合しましょう。

「子どもに学んで，語り合う…子どもについての認識は一つにならず，むしろ重要な点で食い違いのあることに気づくことも…自然なこと…食い違いをそのままにしておかないようにすること，認識の共有に向けて努力することを『職場の文化』にしていくことができれば，私たちは，個々の子どもについての見方をより高いレベルで一致させていく契機にすることができるし，教師各人の個性的感性と子ども理解もそこに彩りをそえることになるでしょう。」 茂木俊彦「みんなのねがい」2011. 4



大事にしたいこと

- 子どもに寄りそって、子どもを理解する。
- 一歩深い子どもの理解を。子どもの行為の「意味」を探る。

子どもをよりよく理解し、子ども一人一人に応じた指導・支援につなげるためにどうすればよいか。

お互いの経験・専門性を活かして「一人でなく、みんなで考えること」。もちろん研修も必要である。発達について、障害についてなど専門的知見について学び（「知らないと見えない」）、実践を通してより深い子ども理解と指導・支援につなげる。

参考図書

津守先生の著書です。
鹿児島大学の図書館に
あります。

特別支援学校の教育
に関する実践書です。



茂木先生，無藤先生の
の著書です。

教師の学びに関する
著書です。